科目区分

生活している人間の理解

看護職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得

保 保健師課程のみ 必修科目

看護の対象としての人間の理解

看護学実習

アドミッション・ポリシー

1年次

2年次

3年次

4年次

ディプロマ・ポリシー

看護学科

保健医療学部

生命の尊重・相手の立場に立って考える

思考を言語化する力・考察する能力(論理的思考)

医療・健康問題への積極的関心(看護職への強い志望、学び続ける努力)

他者に耳を傾ける・協調性

哲学
文学
法学
心理学
発達心理学
社会学
教育学
人体の科学
人間工学
スポーツ科学
情報リテラシー
英語Ⅰ・Ⅱ
ドイツ語

看護関係法規
人体の構造と機能
病原微生物 薬理学
環境論
公衆衛生学 免疫学
食物・栄養学
生活と健康

看護方法演習Ⅰ
看護学概論Ⅰ
看護技術論
基礎看護技術Ⅰ
基礎看護技術Ⅱ
基礎看護技術Ⅲ

看護におけるコミュニケーション論

英語Ⅲ
日本国憲法 文化人類学
カウンセリング論
ジェンダー学 体育実技

病むことの心理 看護倫理

基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ

基礎看護学実習Ⅰ
基礎看護技術Ⅳ
基礎看護技術Ⅴ
看護方法演習Ⅱ

看護におけるコミュニケーション論

英語Ⅲ
日本国憲法 文化人類学
カウンセリング論
ジェンダー学 体育実技

病むことの心理 看護倫理

基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ

基礎看護学実習Ⅰ
基礎看護技術Ⅳ
基礎看護技術Ⅴ
看護方法演習Ⅱ

看護におけるコミュニケーション論

英語Ⅲ
日本国憲法 文化人類学
カウンセリング論
ジェンダー学 体育実技

病むことの心理 看護倫理

基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ

基礎看護学実習Ⅰ
基礎看護技術Ⅳ
基礎看護技術Ⅴ
看護方法演習Ⅱ

看護におけるコミュニケーション論

英語Ⅲ
日本国憲法 文化人類学
カウンセリング論
ジェンダー学 体育実技

病むことの心理 看護倫理

基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ

基礎看護学実習Ⅰ
基礎看護技術Ⅳ
基礎看護技術Ⅴ
看護方法演習Ⅱ

看護におけるコミュニケーション論

英語Ⅲ
日本国憲法 文化人類学
カウンセリング論
ジェンダー学 体育実技

病むことの心理 看護倫理

基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ

基礎看護学実習Ⅰ
基礎看護技術Ⅳ
基礎看護技術Ⅴ
看護方法演習Ⅱ

看護におけるコミュニケーション論

- ①幅広い教養と生命の尊重を基盤とした豊かな人間性を身につける。
- ②医療における看護の倫理的側面を理解し行動できる。
- ③全人的医療、患者さん中心の医療を原点に、病める人の視点で考え、人を思いやる態度をもち、個別性を重視した看護を行うことができる。

- ④医療人に必要とされる基礎医学および臨床医学の基本的知識を身につける。
- ⑤多様な保健・医療・福祉の場で活用できる基本的な看護の知識と技術を身につける。
- ⑥看護の専門的知識を活用し、科学的根拠に基づいて、身体的、心理的、社会的側面から適切な判断を行うことができる。
- ⑦看護の実践の中から看護研究の課題を発見し、それを発展させることができる。
- ⑧常に自らの能力を点検・評価し、生涯学びつづける姿勢を身につける。

- ⑨チーム医療の中で調整・連携の役割を果たすための適切なコミュニケーション能力を身につける。
- ⑩医療安全管理の重要性を理解し、状況に応じた適切な行動をとることができる。
- ⑪保健・医療・福祉チームの一員として地域医療に積極的に関わることができる。

- ①人間の生命に対する深い愛情と畏敬の念を基盤として、高い倫理観と豊かな人間性を涵養すること。

- ②保健医療に関する国際水準の知識と技術の修得を基本とし、未知の課題を自ら解決する意欲と探求心をもつとともに、自らの能力の限界を知り、生涯にわたり自己の資質の向上に努めること。

- ③協調性に富んだ社会人として様々な職種の人々と協力し、医療の安全につなぐに留意するとともに、社会的視点に立って地域の保健医療に積極的に関わることができること。

看護学生のためのリテラシー

基礎看護学実習Ⅰ

医療の基本Ⅰ

基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ

看護過程論
フィジカルアセスメント

医療の基本Ⅱ

在宅看護学活動論Ⅱ

公衆衛生看護学対象別活動論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

公衆衛生看護学活動展開論Ⅰ・Ⅱ

領域別看護学実習(成人・老年・小児・母性・精神・在宅)

実践応用の看護学実習

看護学概論Ⅱ

公衆衛生看護学実習

看護政策論 医療経済学

学校看護論
産業看護論

救急看護論
国際看護論

看護総合セミナー

看護研究セミナー

パリアティブケア論
救急看護論
国際看護論